

第6期おおさき宝大使名簿(敬称略)

No	氏名	出身地	職業・役職
1	相澤 昭男	三本木	「すきです三本木」顧問、二階堂トクヨ先生を顕彰する会副会長、首都圏大崎連絡協議会副会長
2	イガグリ 千葉	古川	ミュージシャン
3	石井 宏子	東京都	温泉ビューティ研究者、トラベルジャーナリスト
4	伊藤 長市	古川	東京宮城県人会連合会顧問
5	大泉 一貫	浦谷町	宮城大学名誉教授、21世紀政策研究所研究主幹
6	大野 隆司	東京都	版画家
7	大和田 順子	東京都	同志社大学政策学部総合政策科学研究科ソーシャル・イノベーションコース教授
8	上遠野 智	岩出山	首都圏大崎連絡協議会副会長、東京有備会会長、(株)クラット代表取締役
9	金澤 茂	鹿島台	長野県民文化会館館長
10	鹿野 軍勝	古川	元駐コロンビア大使、元駐ヴァチカン大使
11	草刈 文幸	三本木	首都圏大崎連絡協議会会長、「すきです三本木」副会長、古川工業高等学校同窓会顧問、(株)和貴企画代表取締役
12	斎藤 吾朗	愛知県	画家(独立美術協会会員)、日本美術家連盟東海地区代表
13	佐々木 宗貴	古川	画家、新制作協会会員
14	さとう 宗幸	古川	歌手
15	澤口 希能	岩出山	(株)プレストシーブ代表取締役、一般財団法人日本刀剣博物館研究財団代表理事、薬学博士
16	庄司 巧	愛知県	写真家
17	鈴木 ナカ子	三本木	古川黎明高等学校同窓会関東支部副支部長、「すきです三本木」副会長
18	高泉 淳子	古川	役者、劇作家、演出家
19	高橋 俊裕	古川	大崎市政策顧問、在京古高同窓会顧問
20	千田 豊治	鹿島台	ジー・オー・ピー(株)代表取締役
21	中鉢 良治	鳴子温泉	(株)オフィスRC 代表
22	宮城野 翔	モンゴル	第69代横綱、宮城野部屋親方
23	藤岡 奈穂子	古川	プロボクサー
24	星 義一	福島県	(一社)みやぎ大崎観光公社常務理事兼事務局長、仙台いちよの会会長、元JR東日本古川地区駅長
25	堀切川 一男	青森県	東北大学名誉教授
26	丸田 雅博	福岡県	みらい建設工業(株)執行役員、元大崎市産業経済部長、元復興庁宮城復興局次長
27	磨 秀晴	松山	凸版印刷(株)代表取締役社長



観光交流課交流担当 ☎7097

市の豊かな歴史や文化、産業、観光資源などを国内外に広く宣伝していたくために、「第6期おおさき宝大使」を委嘱しました。おおさき宝大使は、市の出身者または市にゆかりがあり、教育、芸術、文化、スポーツ、産業経済などの分野で活躍している人たちがから選任しています。任期は、令和7年7月31日までの3年間です。

紹介します

第6期 おおさき宝大使を

No	氏名	出身地	職業・役職
28	水森 かおり	東京都	歌手
29	宮原 育子	東京都	宮城学院女子大学現代ビジネス学部教授
30	宮本 信夫	古川	造形美術家、1064(テントウムシ)美術館・のぶ工房主宰
31	村田 征禧	大郷町	首都圏大崎連絡協議会前会長代行、古川学園高等学校同窓会前関東支部長、「すきです三本木」事務局長
32	杜 けあき	古川	女優
33	横山 義則	古川	東北放送報道制作局報道部専任部長
34	鷺谷 いづみ	東京都	東京大学名誉教授
35	ワッキー 貝山	仙台市	タレント

令和3年度ふるさと納税

全国から温かい支援がありました

政策課行政改革担当 ☎23-2129

このような事業に活用しています



▲地場産品を使用した学校給食(事業①)



▲小学校社会科副読本の作成(事業②)



▲緊急排水ポンプの整備(事業③)



▲岩出山公民館自主文化事業の開催(事業④)

ふるさと納税制度は、自分が生まれ育った「ふるさと」に貢献したい、自分と関わりが深い自治体を応援したいなどの気持ちを形にする制度です。
令和3年度は、全国から約3万6千件、総額5億6千万

円を超える寄付がありました。寄付金は、指定された使い道に沿って、市のさらなる発展のために有効に活用します。
今後も、ふるさと納税制度を活用しながら、より良いまちづくりを進めていきます。

令和3年度のふるさと納税の主な使い道

事業	使い道	金額
①世界農業遺産の資源を保全するための事業	世界農業遺産の普及啓発や居久根のある農村景観の保全・活用の取り組みに対する支援、インバウンド向け観光パンフレットの制作、地場産品を使用した学校給食事業など	2581万円
②未来を担う人材育成のための事業	小・中学校の教材・図書・保健備品の購入、給食機器の更新、保育施設の改修、遊具の更新、小学校社会科副読本の作成など	9394万円
③安全・安心に暮らすための事業	災害用備蓄品の購入、防犯灯の設置、緊急排水ポンプの整備、福祉施設の設備改修・器具修繕など	9432万円
④活力あふれる大崎市をつくるための事業	道の駅・観光施設の設備改修、公民館での各種教室事業の開催、松山ふるさと歴史館・旧有備館および庭園での企画展の開催、オニコウベスキー場の施設整備など	1億4256万円
⑤ふるさと大崎市応援のための事業	震災記録誌「東日本大震災からの復興のあゆみ」の作成など	654万円
⑥令和元年台風19号被害からの復旧・復興のための事業	防災無線の親機更新、水防倉庫への救命胴衣配備など	1億 610万円